

外国語活動カリキュラムマネジメントとデータベースの開発

～インターネットコラボレーションツールを利用した共同開発を通して～

小学校英語を創る会インターネットコラボレーショングループ

〒430-0941
静岡県浜松市中区山下町192番地 浜松市立北小学校内

1. はじめに

小学校での外国語活動必修化が迫り、外国語活動のカリキュラムづくりとそのマネジメントは必須となる。しかし、多くの学校や教師にとって、そういった経験はまだ少なく、戸惑いやALTへの丸投げも現実には見られる。また、小学校教師が英語に対する苦手意識をいかに克服するのかが重要な鍵となる。さらに、行政から外国語活動に関する校内研修を行うよう指導が下りてきているが、外国語活動の研修についてノウハウを知らない現場にとっては、どのような校内研修を計画するのが喫緊の課題となっている。

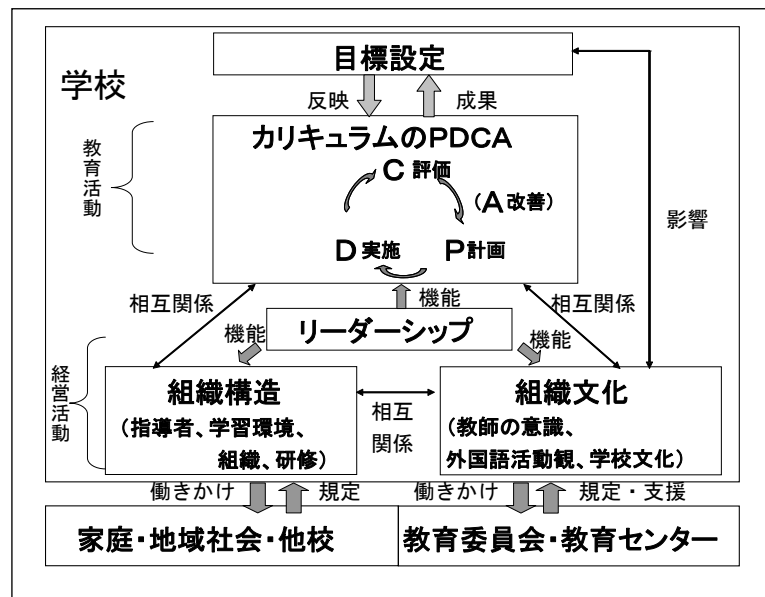
2. 研究の目的

本研究では外国語活動のカリキュラム開発だけでなく、マネジメントも意識した校内研修プランを共同開発し、そのプランをデータベースに蓄積していくことを試みる。

平成21年に、外国語活動の実践で得られた知見をカリキュラムマネジメントの先行事例を援用しながら整理し、外国語

活動カリキュラムマネジメント・モデル（図表I）を開発した。

その後、様々な地域で外国語活動の研修を実践する機会をいただいたことによって、外国語活動カリキュラムマネジメント・モデルの検証と精緻化が進んだ。また、学校現場から誰にでも短時間で実態分析できる方法を求める声があったため、7つの要因を手軽に分析できる「外国語活動マネジメント問診票」を開発



図表I：外国語活動カリキュラムマネジメント・モデル

した。問診票による分析結果から、各校の課題に焦点化した研修プログラムを提供できた。さらに、平成22年6月、より多くの教師・学校・地域に外国語活動マネジメント研修を普及させるために「外国語活動のための校内研修パーフェクトガイド」（教育開発研究所）を出版した。出版社のホームページから、研修材料

が入った「外国語活動おてがる研修パック」を自由にダウンロードできるようにすることで、多忙な現場でも簡単に外国語活動の準備を整えられるようにしている。

平成22年度の研究によって、外国語活動のカリキュラムマネジメントを意識した研修システムと研修用コンテンツの開発が進み、個人や学校レベルでの普及においてある程度成果が上がったが、平成23年度以降の外国語活動完全実施に合わせて、さらに以下の2つの研究内容に取り組み、普及を推し進めた。

- ① 研究協力員である指導主事に協力を依頼し、学校レベルの校内研修ではなく、地域レベルの集中研修を実施する。その際、参加する各校代表者全員に「外国語活動マネジメント問診票」を事前に記入してもらい、その地域の実態を多数の問診票データから分析し、研究協力者と共同開発した最適な研修プランを提供する。
- ② 出版社のホームページを通して研修用コンテンツを提供しているが、実際の授業ですぐに活用できる指導案や教材も現場から求められている。特にプレゼンテーションソフトを使ったICT自作教材は、そのまま授業で使用できるだけでなく、授業者が好きなように修正できるメリットがある。そのため、ICT自作教材をネットワークシステムに載せて研究協力者と共同開発し、データベースに数多く蓄積していく。

3. 研究の方法

本研究の中核を担うのが、インターネットコラボレーションツールを利用した研修プランの共同開発である。具体的には、JRSコミュニケーションウェア社の「コラボノート」を利用して、校内研修プランを相互に支援しながら開発するシステムを構築する。このシステムは研究協力者が協同的に校内研修プランの開発を行うためのコラボルームとそこでの開発プロセスにおいて得られた情報や知見を整理・蓄積するためのデータベースからなる。

また、現場から「実際の研修の様子を詳しく知りたい」というニーズに応えるために、研修映像や研修企画書も蓄積していき、優れたものを教育開発研究所のホームページで公開していく。

これにより、多くの研修会を開催しなくても優れた研修モデルの普及を継続していくことが可能となる。この「コラボノート」の利点は、いつでもどこからでもブラウザを通して議論ができること、しかも、複数の参加者による共同作業が可能なことである。平成22年より、このシステムを導入して外国語活動の研修プラン、指導案、教材を協同的に作成するプロジェクトを20名で実施しているが、その優れた機能が証明された。

(図表Ⅱ)

図表Ⅱ：インターネットコラボレーションツール『コラボノート』

4. 研究の内容

外国語活動研修プランの開発

① 「外国語活動マネジメント問診票」による実態分析

夏に開催する集中研修のために、対象地域の実態を「外国語活動マネジメント問診票」を使って把握する。参加校すべてにチェック結果がエクセルで自動集計される問診票をデータで送り、記入後に送り返してもらう。その分析結果から最適な研修プランを作成する。

また、ネットワークを通じて、研究協力校だけでなく複数の学校や地域に「外国語活動マネジメント問診票」を使った実態分析と研修プランの提供を打診する。賛成が得られた学校に問診票をデータで送り、その分析結果から最適な研修プランを提供し、対象校に校内研修を実施検証してもらう。

② インターネットコラボレーションツールによる研修プランの共同開発とデータベース蓄積

対象校が取り組んだ具体的な内容を文書や画像・映像にして、共同開発ネットワークシステムに載せ、研究協力者と成果や課題を分析・整理して改善を図っていく。

また、共同開発ネットワークシステムによって精緻化された研修プランを蓄積していく。様々な条件の違いを整理することで多様性に応じたデータベースを完成させる。

③ 対象校への支援

研修プランを実施する学校や地域には、電話やメールで助言を与えたり、研修資料を送るなどして間接的支援を行う。また、研究協力校や希望する学校には、校内研修を直接支援したり、研修の様子を記録したりする。

(写真 I)



写真 I : 浜松市立金指小学校での研修会

外国語活動用 ICT教材の開発

① インターネットコラボレーションツールによる ICT教材の共同開発

研究協力員および先進的に ICT教材を開発している研究者や教員に呼び掛け、ICT教材の作成を行う。作成した ICT教材は、共同開発ネットワークシステムに載せ、研究協力者とウェブ上で検討し改善を図る。

② 開発した ICT自作教材の試験的運用と学習会での検討会

共同開発した ICT教材を研究協力員や協力校に試験的に運用してもらったり、学習会で ICT教材を検討したりして、汎用性のある ICT教材の開発を目指す。

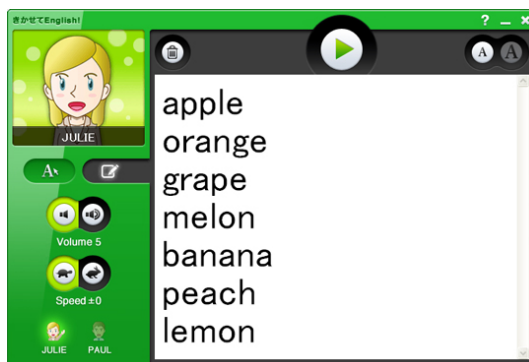
③ 改善された ICT教材のデータベース蓄積とホームページでの公開

精緻化された ICT自作教材をデータベースに蓄積していく。データベースに蓄積した ICT教材の中から、2か月に1回程度、公開可能で多くの学校や地域で有効活用できそうなものを選択し、出版社のホームページ上で閲覧可能な状態にする。これによって、多くの学校が利用可能となり、外国語活動の普及・発展を推進する。

5. 研究の経過

前年度から継続して実施されていた ICT教材の作成が進み、4月末の段階で5年生・6年生ともに20回分の ICT教材を用意することができた。この ICT教材を研究協力員や協力校に試験的に運用してもら

い、実施後のフィードバックを行った。また、本年度の研究が開始された頃、ジャストシステム社から授業デザインソフトの共同開発プロジェクト参加について打診があった。このソフトはICT教材を自作する上で大変有効なものであったため、他の研究協力員と共にプロジェクトに参加し、本研究の一部として取り組むこととした。この授業デザインソフト「ジャストマイスター」の優れた点の一つとして、英文読み上げ機能が挙げられる。入力した単語や英文をまるでALTが話しているかのように読み上げてくれるため、学級担任が発音に自信のない場合やALTとのチーム・ティーチングができない場合に効果を発揮する。また、同ソフトに搭載されている日本語から英語への変換機能やリズム再生機能などを活用した教員のスキルアップ研修の可能性も研究していった。



年間を通じて、複数の学校や地域に対して「外国語活動マネジメント問診票」を使った実態分析と研修プログラムを提供した。その後、電話やメールで助言を与えたり、研修資料を送ったりして間接的支援を行った。また、夏季休業中や冬季休業中は、学校や地域での研修会を直接支援することが多く、研修データを直接回収することで効果的なフィードバックを行うことができた。

12月と2月にはワークショップ型のマネジメント研修会を開催し、参加者には自校の実態に応じた校内研修を再現できるように研修のノウハウをつかんでもらった。これらの研修会の資料や画像についてもデータベースに蓄積し、データベースの充実を図った。

6. 研究の成果と今後の課題

外国語活動研修プランの開発においては、平成22年に発刊された外国語活動カリキュラムマネジメントに関する書籍に掲載された内容や図・画像を利用することによって、研修のイメージを具体的に掴んでもらうことが容易にできるようになった。また、出版社のホームページから研修用コンテンツを無料でダウンロードできるようになっているため、外国語活動のカリキュラムマネジメントを意識した研修システムと研修用コンテンツの利用が進み、個人や学校レベルでの普及はある程度達成できた。

今後の課題としては、平成24年度に「英語ノート」が「Hi, friends!」へとマイナーチェンジされたことを受けて、実際の授業ですぐに活用できるICT教材が現場から求められることが予想される。特にジャストマイスターやパワーポイントを使ったICT自作教材は、そのまま授業で使用できるだけでなく、授業者が好きなように修正できるメリットがあるため、ICT教材を共同で開発し、本研究のようにネットワークシステムに載せて研究協力者と改良を重ねていく必要がある。

また、作成した教材やコンテンツがいくら優れたものでも、それらを機能的に管理できなければその有効性が発揮されない。その意味でも、ジャストマイスターには、データを一括管理できるファイル管理ツールが搭載されており、各人が作成した教材やコンテンツをファイルサーバー等に保存することによって簡単に共有できる点は特筆すべき点である。さらに、この機能を校内サーバーで活用し、実施後のフィードバックをデータに追加していくことで、校内ネットワークショップを実施したり、ネット上にウェブスペースを設けることで、地域を越えた全国的なネットワークショップを機能させたりする可能性も考えられる。

ファイル名	更新日時	学校	学年	授業者	教科	解元名	概要
ト1_世界の地図.abcz	2011/10/20 18:20		5年		外国語活動	「世界のどこに住いても知らぬ」歌い遊ぶ。	本日まで、見習い世界
ト1_リスニング.abcz	2011/10/19 11:30		5年		外国語活動	「ジョーカー」自分の名前を覚える。	外国語活動のスタート
ト1_読書.abcz	2011/10/20 18:57		5年		外国語活動	「読」	から200での数を数え
ト1_自己紹介.abcz	2011/10/19 21:52		5年		外国語活動	「自己紹介しよう」自分の好きなもの。	自己紹介で自分の好きな
ト1_英語.abcz	2011/10/19 21:33		5年		外国語活動	「いよゑん言葉を知ろう」私の好きな。	開始に年人英語の音
ト1_外国語.abcz	2011/10/19 21:30		5年		外国語活動	「外国語を知ろう」Department of	児童に気づけてきたもの
ト1_リスニング.abcz	2011/10/21 18:34		5年		外国語活動	「リスニングしよう」漢字の	本日は、漢字の
ト1_外国語.abcz	2011/10/19 21:20		5年		外国語活動	「外国語を知ろう」	学校の外国語活動
ト1_リスニング.abcz	2011/10/21 18:41		5年		外国語活動	「リスニングしよう」私の好きな	前日まで練習した
ト1_リスニング.abcz	2011/10/21 18:37		5年		外国語活動	「リスニングしよう」	児童は、これから小学
ト1_リスニング.abcz	2011/10/19 21:46		5年		外国語活動	「リスニングしよう」	本日は、英語の
ト1_読書.abcz	2011/10/21 18:34		5年		外国語活動	「読書の楽しさを知ろう」	英語で自分のことを
ト1_読書.abcz	2011/10/19 20:27		5年		外国語活動	「読書の楽しさを知ろう」	自分の好きなことを
ト1_読書.abcz	2011/10/21 21:10		5年		外国語活動	「読書の楽しさを知ろう」	前日まで、自分の
ト1_リスニング.abcz	2011/10/21 18:35		5年		外国語活動	「リスニングしよう」世界語。	世界語を学んでお
ト1_リスニング.abcz	2011/10/21 18:30		5年		外国語活動	「リスニングしよう」	外国語の、外国語
ト1_リスニング.abcz	2011/10/21 21:44		5年		外国語活動	「リスニングしよう」	自分の好きな
ト1_読書の楽しさ.abcz	2011/10/21 18:30		5年		外国語活動	「読書の楽しさを知ろう」	読書についての

7. おわりに

本研究を構想・実践するにあたって、鳴門教育大学の村川雅弘先生には多くの示唆と助言をいただいた。この場を借りて心から感謝申し上げたい。

参考文献：小学校外国語活動のための校内研修パーフェクトガイド（教育開発研究所、村川雅弘・池田勝久編集）、2010

ひと工夫でこんなに楽しい！子どもが輝く！外国語活動レシピ集（ジャストシステム、村川雅弘・兼重昇編著）、2012